

佐倉市市議会議員

はしおか 協美



市議会報告第19号 H27. 11. 6.

絆と活力あるまちづくり

市民と市政に橋をかける 総務常任委員会 会派:のぞみ



平成 27 年 8 月 佐倉市定例会（8/17～9/24）での議案と議会質問について

●平成26年度佐倉市一般会計歳入歳出決算審査・補正予算の審査について

平成26年度佐倉市

一般会計歳入決算額	481億2,304万4,177円
歳出決算額	454億6,611万9,752円
差引残額	26億5,692万4,425円
継続費逓次繰越額、繰越明許費繰越額を除いた 実質収支額	22億2,105万9,425円



- ◆平成 26 年度佐倉市一般会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入の骨幹となる市税収入が、大幅に増加することが見込めない中、本庁舎保全事業、小中学校施設の改築・改造事業や志津公民館整備事業、保育所入所委託事業、学童保育所施設整備事業を適正に執行したと認められることから決算認定をすべきと判断し賛成しました。
- ◆議案第 10 号一般会計補正予算の（仮称）千代田ふれあいセンター施設整備事業については、雨漏りと空調設備の修理の部分が、当初の概算より増額となりますが、地域活動等に利用できる施設が少ない染井野・千代田地区の要望を受け、この地域の公共施設の充実が図られることから、増額補正予算に賛成しました。
- ◆市管理街灯 LED 化事業は、費用対効果と防犯効果が期待出来、事業実施後は効果と課題を検証し、自治会設置の街灯 LED 化が円滑に進むよう要望し賛成をしました。

●会派のぞみを代表質問・9月は「がん征圧月間」佐倉市の取り組みは？

- ◆現在、日本人の死亡原因は、がんが第1位で、1年間の死亡者数125万人のうち、約36万人が亡くなり、日本では、2人に1人ががんになるといわれています。平成25年度佐倉市の死亡総数1,534人のうちがんによるもの474人です。
- ◆長崎市立図書館では、がんについての図書の相談・レファレンスが一番多かったので、がん専門のコーナーを設置し、がんの種別に本を並べ、本の下にがん機関の情報収集とそのチラシを並べ、さらには、市立病院の先生が図書館で、がんについての講演会を年5回開催し、講演後は医療相談を実施し、毎回150名から200名の参加者があります。
- ◆がん罹患者に対する支援も、佐倉市として取り組むよう要望しました。

がん教育、喫煙と受動喫煙の害、減塩、減塩給食への取り組みを要望



●プレミアム商品券発売方法の課題は？

- ◆高齢者や障害者の方が購入しづらい先着順による販売方法の課題と往復はがきによる販売方法をとらなかった理由を質問し、公平性の確保の件、夜中からの行列と横入りの問題があった販売時の整理の件、スタッフへの事前説明方法と誘導の件、市民優先の購入引きかえ券の配布の件についての課題を挙げ、今後に活かすよう要望しました。



●佐倉市の図書館をどのようにしていくか？

- ◆徳島市の例では、徳島駅前にあるそごうデパートが隣町に大型商業施設の建設計画が立ち上がり、撤退を決めたそうですが、そごうデパートに隣接するホテルの中で稼働率が下がっている宴会場に、駅から離れた市立図書館を移設したところ、貸出数が1.5倍、貸出人数が2倍、新規利用者が4倍になり、駅前図書館として市民の満足度も上がり、そごうの撤退も中止となり、まちの活性化を図ることが出来ました。
- ◆第4次佐倉市総合計画（後期基本計画）に佐倉図書館の整備計画を位置付けるだけで、佐倉図書館の整備計画の庁内合意を図り、政策決定できるのでしょうか？新町の活性化、美術館・ミレニアムセンターとの複合化、市立美術館前の駐車場スペースの活用等、可能性は無限にあります。
- ◆市長の所信表明の中に佐倉図書館の整備と明言されていますので、庁内関係担当課が横断的に集まって検討する必要がありますと考えます。佐倉図書館整備に関する検討委員会、ワーキングチームを立ち上げてはいかがでしょうか？老朽化した佐倉図書館の整備で、まちの活性化を図ることを提案し、加えて、ユーカリが丘地区に不足するホール、図書館、自習室についても改善を求めました。

図書館で行政課題を解決するまちづくりを提案



会派のぞみ視察レポート



《景観を守る取り組みの先進地、内子町へ》

内子町は保存条例や補助制度を整備するなど保存対策を図り、住民も保存修理に着手するなどの保存事業が進み、昭和57年、四国で初めて、重要伝統的建造物群保存地区に選定され、その町並みは全国で注目されるまでになりました。

内子町の町並み保存の目的は、そこにあるものを生かすまちづくりにあります。手探りのスタートからぶれることなく取組まれた当時の職員さんに直接お話を聞く機会にも恵まれ、住民への説明に時間をかけたことなど、貴重な経験を直接お伺いしました。



《今治市の地産地消・有機野菜の給食》

今治市の地産地消・有機野菜の給食は、PTAからの要望をうけ当時の担当者が動き、やがてその方が市長へ。条例制定や、食育に力を入れたり、農家さんを後押ししたり。

佐倉市も地産地消の食材を中心に自公式学校給食をしています。子どもたちからも保護者からも好評を頂いている所ですが、保護者や農家さんから給食の有機野菜デーを実施してもらえないかと要望もありますので、今治市の先進例を佐倉スタイルにして実施できるように、会派のぞみとして時間をかけて取り組んでいく為に参考になるポイントが数々ありました。

あらゆる方面からの協力を得て、合意形成＆実現実行
「絆と活力あるまちづくり」をめざします



お気軽にご意見をお寄せください！

メールによるご相談、お問い合わせも歓迎いたします。

■ はしおか 協美

佐倉市ユーカリが丘4-1 E-3101 携帯：090-7816-7745

FAX：043-488-3553 E-mail：hashioka.kyomi@gmail.com

HP・ブログ：インターネットで橋岡協美と検索ください。

橋岡協美

検索